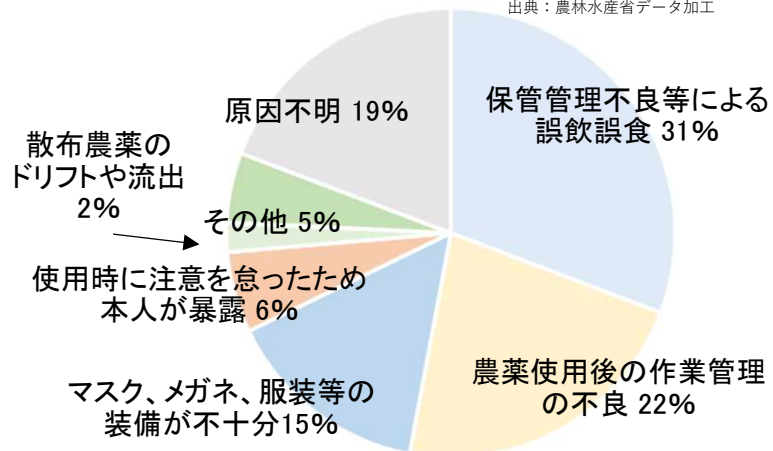


農薬の使用による事故や被害を防ぎましょう！

農薬事故の原因は？（令和元～5年の平均）

出典：農林水産省データ加工



○誤った使用をしないようにラベルを確認しましょう

○適用農作物、使用量・希釈倍数、使用時期、使用回数等を確認しましょう。また使用上の注意事項を守りましょう。

※使い慣れた農薬でも確認不足や思い込みによって誤って使用した事例があります。

○作物の名前が似ていても収穫物の大きさや重さ、収穫時期、収穫部位、収穫物の形態が異なる場合には別の作物として農薬登録されることがあります。

「間違いやすい作物」

収穫時期が違う	
だいず	⇔ えだまめ
いんげんまめ	⇔ さやいんげん

形が違う	
レタス	⇔ リーフレタス
ブロッコリー	⇔ 茎ブロッコリー

大きさが違う	
トマト	⇔ ミニトマト

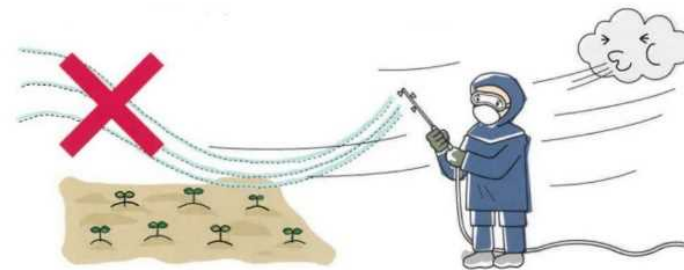
部位が違う	
にんにく	⇔ にんにく(花茎)

○近年の事故の傾向としては農薬の保管管理不良等による誤飲・誤食が多くみられています

余った農薬をペットボトルやガラス瓶などの飲食品の空容器に移し替えていたことが誤飲・誤食の原因となった事も…

●農薬は鍵のかかるロッカーなどで保管しましょう。
●農薬の容器の移し替えは絶対にしないでください。

○農薬の飛散によっておこる事故もあります下記の点に留意して農薬散布しましょう



出典：香川県作成リーフレット「農薬を安全に使用しよう」

周囲の方への配慮

○**周辺住民に対して**、農薬使用の目的、散布日時、使用農薬の種類及び農薬使用者等の連絡先を十分な時間的余裕をもって幅広く周知しましょう。

○とくに**学校、保育所、病院、公園等**の公共施設や住宅地に隣接する農地では、周囲の方への健康被害が生じないように、農薬の飛散防止に努めるなど、十分な配慮をしましょう。

※近隣に学校、通学路等がある場合には、万が一にも子どもが農薬を浴びることのないよう散布の時間帯に最大限配慮しましょう。



出典：香川県作成リーフレット「農薬を安全に使用しよう」

農薬飛散防止に配慮

○農薬の散布は、風が無風か弱いときに行うなど、天候や時間帯を選んで行いましょう。
○粒剤等飛散が少ない農薬や、飛散を抑制するノズルを使用したり、動力噴霧器の圧力を上げすぎないようにしましょう。
○散布作業中は風向きやノズルの向き等に注意しましょう。